

宅 地 概 要 (第一次スクリーニング結果)									
盛土番号	15	宅地名	松の杜		造成(許可)年代	平成5年			
所在地住所	松島町高城松の杜6〜8								
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面								
盛土形状	盛土面積A	4,315	m ²	盛土幅W	78	m	盛土距離d	55	m
	盛土高さH	8.8	m	盛土厚さD	5.0	m	原地盤勾配α	9.1	°
							天端幅(腹付け型)L	—	m
							現在の地形条件	高い擁壁	
宅 地 概 要 (第二次スクリーニング計画の作成)									
優先度評価項目				ガイドラインフロー判定 (記 事)					
①	盛土および擁壁の形状と構造が標準的な形状と構造に該当			☐ 非該当 ☒ 該当		(構造に問題なし)			
②	宅地地盤・擁壁・のり面の変状			☐ 有 ☒ 無		(概ね問題なし)			
③	地下水			☐ 有 ☐ 可能性有		(盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない)			
④	盛土下の不安定な土層			☐ 有 ☐ 不明		(造成前空中写真では樹木の茂る斜面であるため軟弱層はないと判断)			
⑤	造成年代 (基準年以前／後)			☐ 以前 ☒ 後		(平成5年)			
⑥	変動確率			☐ 大 ☒ 小		(3方式中1方式で確率大)			
【総評】	第1次スクリーニングでNo.15-1として抽出されたもの。 概ね平坦な地形で、末端付近に高低差のあるのり面・擁壁が作られている。 路面のひび割れ・沈下はほとんどみられず、概ね健全である。 盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない。 滑動方向に変電所があるため、新規変状の発生有無について、経過観察を提案する。 北西部のNo.15-2として当初抽出された箇所は、宅地外壁に微小な開きがみられ、のり尻が若干湿潤状態であるが、こちらも滑動崩落に関する懸念点はないと判断する。					想定被害形態			
						擁壁倒壊・背面土の崩壊(擁壁の不安定化による)			
						優先度			
						フローランク	C		
						被害規模ランク	c		
						優先度 低			
						今後の対応案			
						経過観察			
宅 地 概 要 (第二次スクリーニング)									
【地盤定数】						【安定計算結果】			
地盤定数		代表N値	単位体積重量 (kN/m ³)	粘着力 (kN/m ²)	内部摩擦角 (°)	せん断波速度 (m/s)			
地層区分							常時	地震時	
【総評】									

【位置図】

凡 例

盛土形状

主測線

滑動方向

【断面図】

変動予測調査後

【工事の記録】

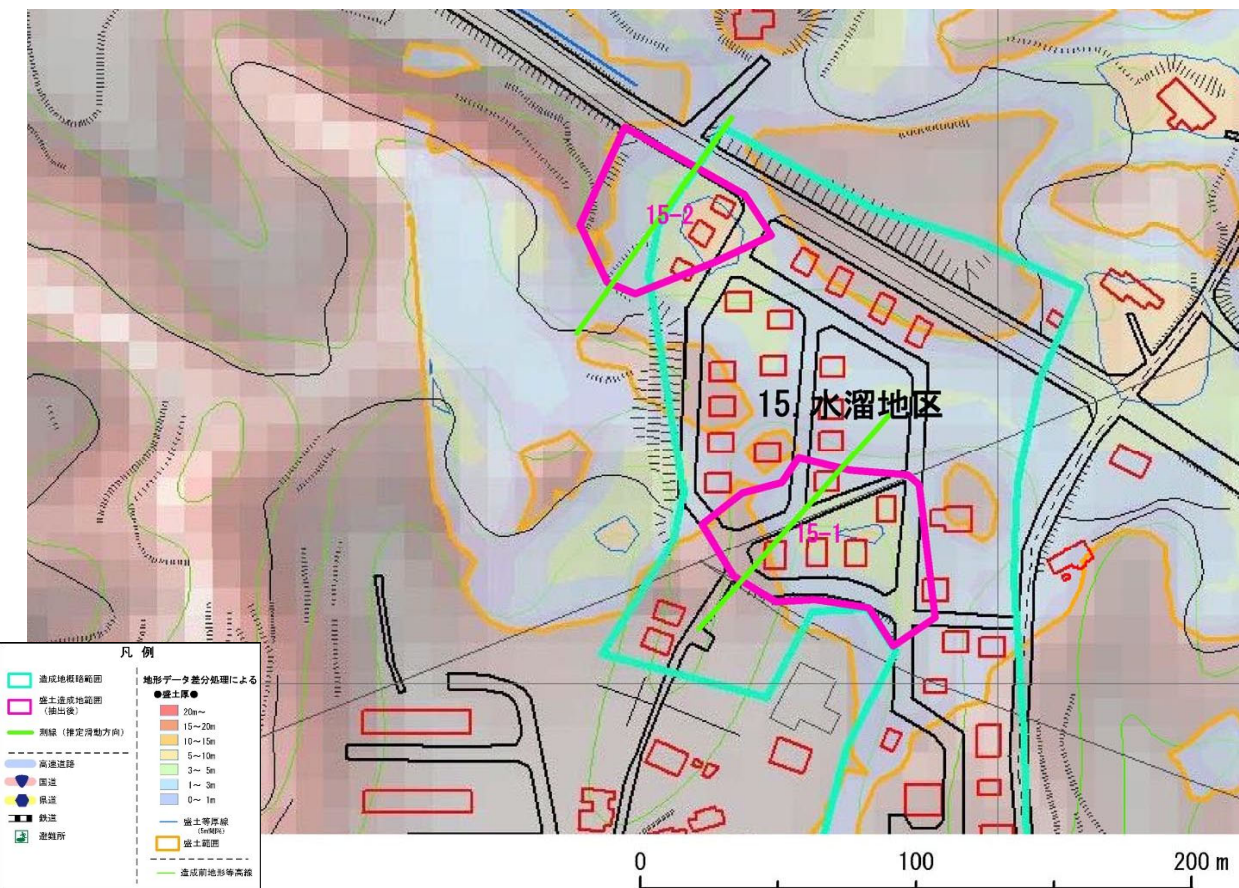
【点検の記録】

盛土番号	15	宅地名	松の杜	造成(許可)年代	平成5年	盛土形状	盛土面積A	4,315	m ²	盛土幅W	78	m	盛土距離d	55	m	天端幅(腹付け型)L	—	m
所在地住所	松島町高城松の杜6~8						盛土高さH	8.8	m	盛土厚さD	5.0	m	原地盤勾配α	9.1	°	現在の地形条件	高い擁壁	
盛土形式	■ 人工造成地 (■ 谷埋め型 □ 腹付け型) □ 自然斜面					特記事項	(											

【造成前空中写真】



【第一次スクリーニング差分図】

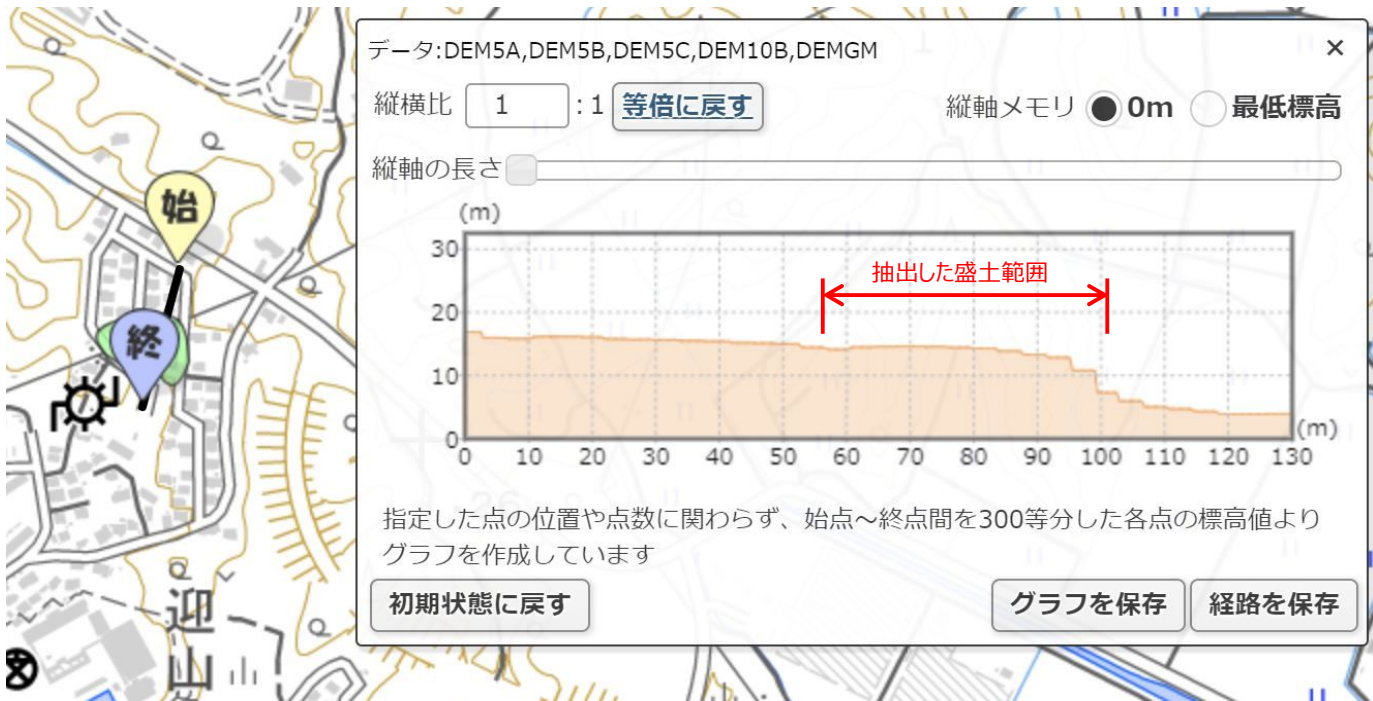


【空中写真】



	大規模盛土造成地
	滑動方向

【模式断面図】



基礎資料整理				現地踏査								
チェック項目		判定(記事)		調査日時	天気記録	調査日	1日前	2日前	3日前	4日前	5日前	
保全対象	・住宅	☒ 有	☐ 無	盛土下(0)軒 盛土上(12)軒 ()	2022年10月4日	降水量(mm)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	・公共施設等	☐ 有	☒ 無	☐ 病院・避難所 () ☐ 緊急輸送路 () ☐ 河川・ため池 () ☐ 鉄道 ()	・宅地内の平面図との相違 ・盛土形状の机上調査との相違 ・盛土末端部の状況		☐ 有 ☒ 無 () ☐ 有 ☒ 無 () — ☐ すりつき ☒ のり面 ☒ 擁壁 ()					
	・その他特記事項	☒ その他重要施設		(東北電力松島変電所(擁壁直下に鉄塔))	優先度評価項目		判定(記事)					
	各種指定	・各種指定の有無	☒ 有	☐ 無	☐ 宅地造成工事規制区域 ☐ 災害危険区域 ☐ 人口集中地区DID ☒ 土砂災害特別警戒区域 若しくは土砂災害警戒区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 砂防指定地 ☐ 地すべり防止区域	① 形状土とお構い擁壁の	・盛土のり面勾配	☐ 急 ☒ 適	のり面角度(30)° 勾配(1: () ()			
		・その他特記事項	☐ その他重要指定	()	・小段の設置		☐ 不適 ☒ 適	高さ(4.0)m ×(1)段 小段幅()m ()				
・その他特記事項		☐ その他重要指定	()	・のり面保護工の設置	☐ 不適 ☒ 適		☐ 法枠 ☐ 吹付 ☒ 緑化工 その他()					
その他				② 宅地地盤・擁壁・のり面の変状	・ひな壇部分の傾斜	☐ 急 ☒ 適	傾斜角()° ()					
					・擁壁構造の適格性 (主に末端 または中段で比高差の大きい箇所)	☐ 不適 ☒ 適	☒ コンクリート擁壁 ☐ ブロック積 ☐ 練石積 ☐ 補強土壁 ☐ 多段・増積擁壁 ☐ 空石積 その他() 高さ(4)m ☐ 高さ5mを超える 壁面勾配(1: 0.5)					
優先度評価項目				判定(記事)								
⑤ 造成年代	基準年代(昭和49年)	☐ 以前 ☒ 後	造成年代(平成5年)	③ 地下水	・上面の地盤や路面の沈下	☐ 顕著 ☒ 微小 ☐ 無	(末端付近のり肩微小沈下)					
・その他特記事項	—		()		・末端の地盤や路面の隆起	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
⑥ 変動確率		☐ 大 ☒ 小	点数方式(方式1)(%) 点数方式(方式2)(44 %) 数量化Ⅱ類(42 %) その他(統計的側部抵抗モデル 0.995)	④ 土盛層土状態の	・地盤や路面の亀裂	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	(路面ひび割れほぼなし)					
	・その他特記事項	—	(3方式中1方式で確率大)		・複合又は連続する変状	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
【平面図】 凡 例 盛土形状 主測線 写真撮影位置 0 20 40 60 80 100 m				【総評】	擁壁	・擁壁とその基礎の変状	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()				
					・擁壁背面の変状	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					・擁壁の補修履歴	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					盛土のり面	・亀裂	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()				
					・表面の不陸又は凹凸	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					・表層崩壊やガリ浸食跡	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					・小段や排水工の変状	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					その他	・災害痕跡	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()				
					・根曲がり	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()					
					・その他特記事項	☐ 上記以外の変状	()					
フロー【盛土の滑動崩落の兆候を示す変状】				☐ 有 ☒ 無	(概ね問題なし)							
湧水・滲出 周辺影響 地下水の示唆				・盛土のり面からの湧水	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・擁壁水抜き穴からの恒常的な出水	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・排水工や擁壁の恒常的な帯水や湿り黒ずみ	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・排水工の水没	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・排水工の目地や亀裂からの地下浸水	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・調整池やため池水位の影響	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・上流部の谷や集水地形による影響	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・既存ボーリングや井戸の水位	☐ 浅い ☐ 深い ☒ 無	()						
				・ガレージ等半地下部の湿り	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
				・水を好む植生の有無	☐ 顕著 ☐ 微小 ☒ 無	()						
フロー【盛土内地下水を示す現象】				☐ 有 ☐ 可能性有 ☒ 無	(盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない)							
資料確認 周辺状況				・既往調査や開発関係資料	☐ 有 ☒ 無	()						
				・原地盤材料の確認	☐ 有 ☒ 無	☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土 ☐ 岩盤()						
				・盛土材料の確認	☐ 有 ☒ 無	☐ 礫質土 ☐ 砂質土 ☐ 粘性土						
				・盛土周辺の沖積粘性土	☐ 有 ☒ 無 ☐ 不明	()						
				・盛土周辺の液化履歴	☐ 有 ☒ 無 ☐ 不明	()						
フロー【滑動要因となりうる不安定な土層】				☐ 有 ☒ 無 ☐ 不明	(造成前空中写真では樹木の茂る斜面であるため軟弱層はないと判断)							
第1次スクリーニングでNo.15-1として抽出されたもの。 概ね平坦な地形で、末端付近に高低差のあるのり面・擁壁が作られている。 路面のひび割れ・沈下はほとんどみられず、概ね健全である。 盛土内地下水の可能性を示す現象は認められない。 滑動方向に変電所があるため、新規変状の発生有無について、経過観察を提案する。 北西部のNo.15-2として当初抽出された箇所は、宅地外壁に微小な開きがみられ、のり尻が若干湿潤状態であるが、こちらも滑動崩落に関する懸念点はないと判断する。						被害形態		被害規模ランク		優先度		
						被害規模ランク		優先度				
						被害規模ランク		優先度				
						被害規模ランク		優先度				
						被害規模ランク		優先度				



写真1 東側部 範囲外 ブロック積部は切土判定



写真2 東側部 下流方向 変状ほぼなし



写真3 東側部 頭部方向 変状ほぼなし



写真4 中央 東方向 変状ほぼなし



写真5 頭部 主測線方向 変状ほぼなし



写真6 東側部 末端付近 変状ほぼなし



写真7 東側部 中央方向 路面ひび割れ微小



写真8 中央 東方向 路面ひび割れ微小



写真9 中央 西方向 曲線的な路面ひび割れ



写真10 西側部 のり肩微小沈下



写真11 西側部 末端方向 変状ほぼなし



写真12 西側部 中央方向 変状ほぼなし



写真13 西側部 範囲外 階段ひび割れ微小



写真14 末端中央 のり面下に鉄塔



写真15 末端中央 東方向 コンクリート擁壁は健全



写真16 末端東側 西方向 住宅側は切土



写真17 頭部範囲外 主測線方向 変状ほぼなし



写真18 頭部範囲外 側溝沿い開口補修跡



写真19 東側部範囲外 末端方向 変状ほぼなし



写真20 No.15-2南側部 ほぼ原地盤



写真21 No.15-2頭部 変状ほぼなし



写真22 No.15-2頭部 コンクリート土留め目開き微小



写真23 No.15-2北側部 路面変状ほぼなし



写真24 No.15-2頭部北側 コンクリート土留め目開き微小



写真25 No.15-2北側部 中央方向 のり面変状なし



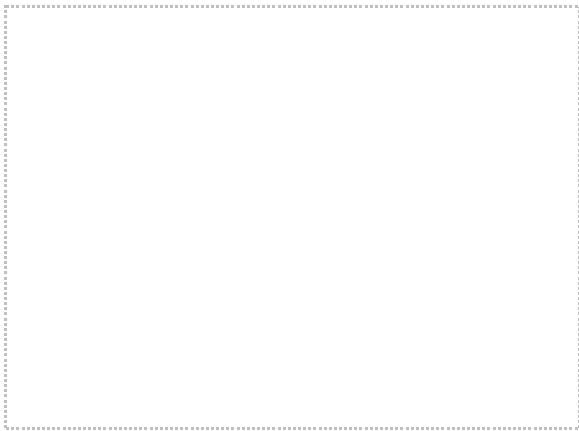
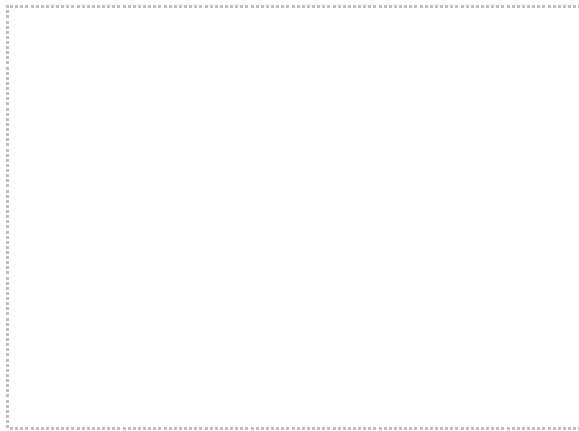
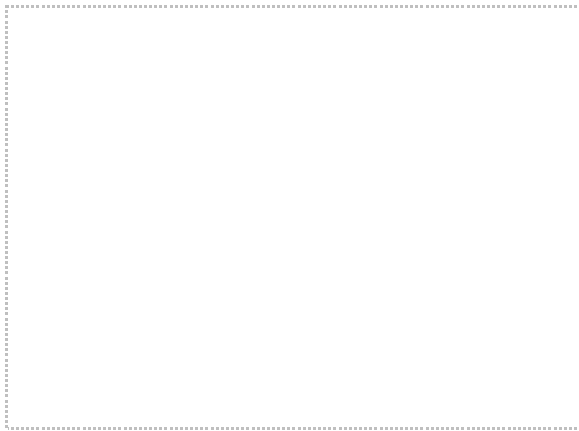
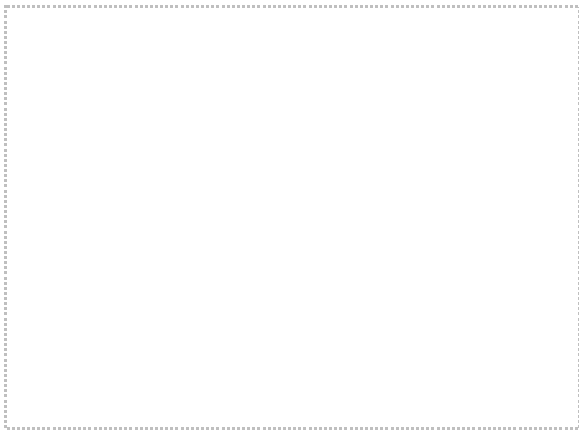
写真26 No.15-2北側部 末端方向 ほぼ原地盤



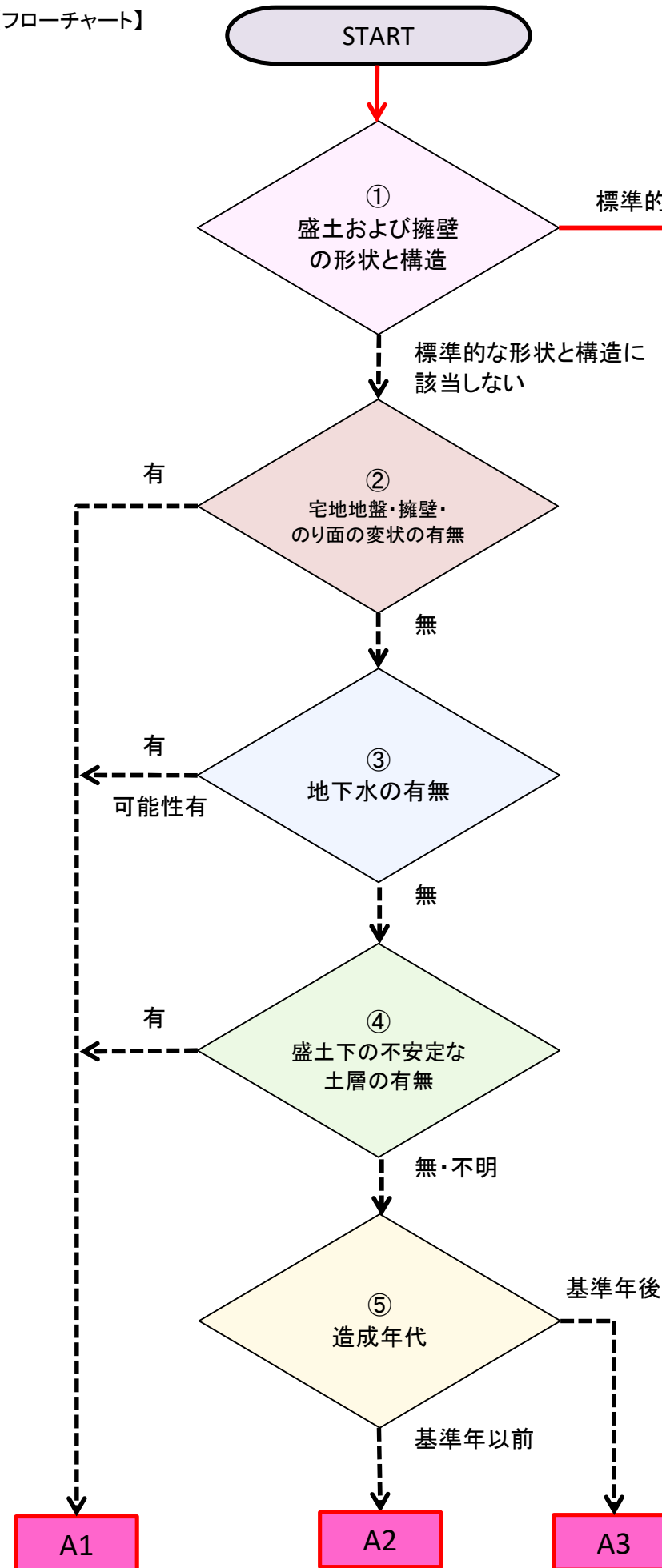
写真27 No.15-2中央 上流方向 のり尻やや湿潤



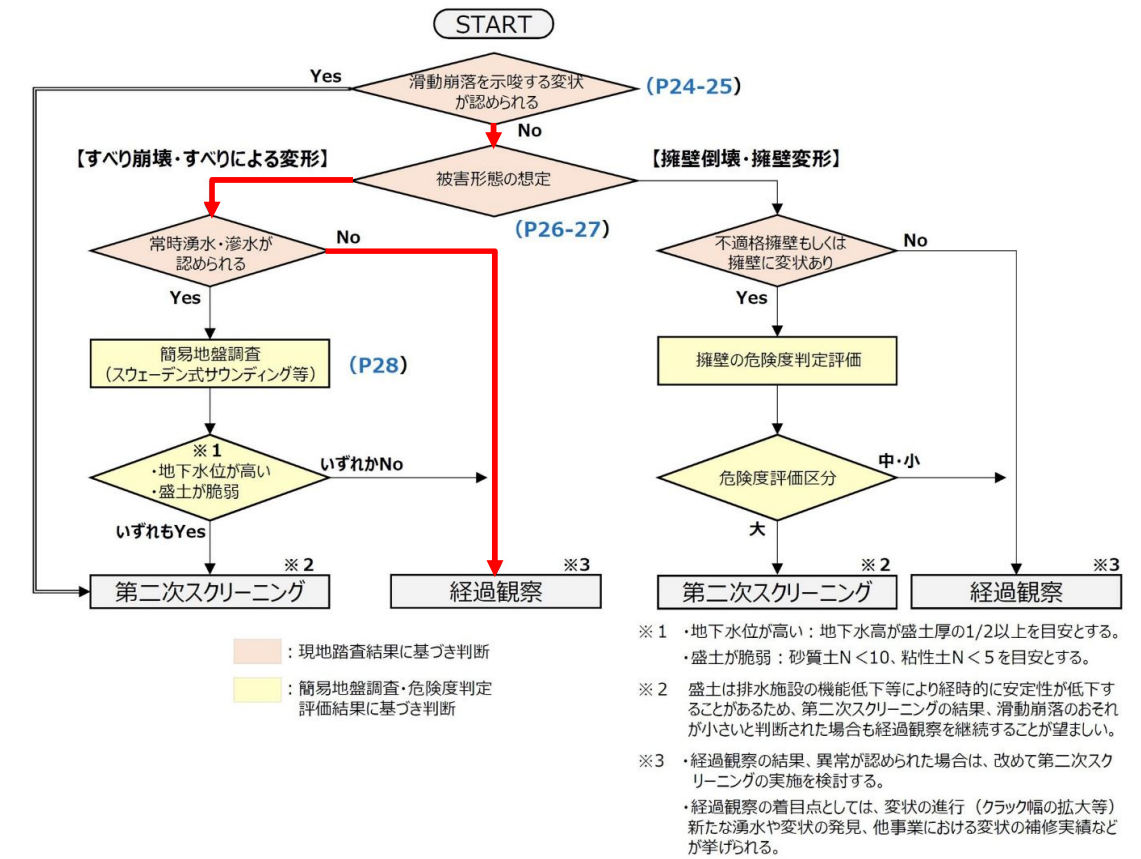
写真28 No.15-2中央 末端方向 ほぼ原地盤



【フローチャート】



【早期に第二次スクリーニングを実施すべき盛土の考え方】



：現地踏査結果に基づき判断

：簡易地盤調査・危険度判定評価結果に基づき判断